

世界の主な地震

令和3年（2021年）11月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

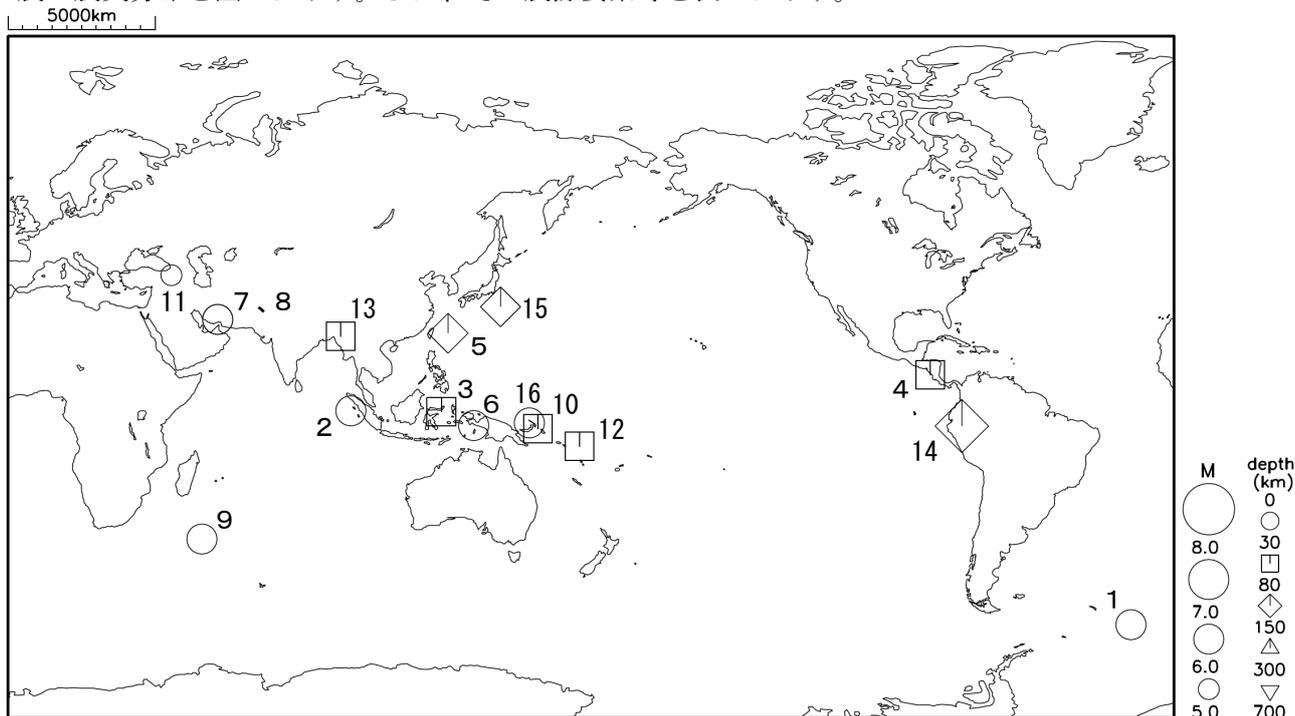


図1 令和3年（2021年）11月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和3年（2021年）11月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	01日09時02分	S58° 02.2′	W 25° 13.1′	22			6.0	サウスサンドウィッチ諸島			
2	02日02時04分	N 0° 12.5′	E 96° 42.7′	8			6.0	インドネシア、スマトラ北部西方沖			
3	06日23時37分	N 0° 04.5′	E124° 18.8′	40			6.0	インドネシア、スラウェシ、ミナハサ半島			
4	09日15時25分	N11° 13.8′	W 86° 31.1′	35			6.2	ニカラグア沿岸			
5	11日00時45分	N23° 43.9′	E126° 22.0′	20*		6.5	(6.6)	宮古島近海		○	
6	11日02時46分	S 4° 19.8′	E134° 10.8′	10			6.0	インドネシア、イリアンジャヤ			
7	14日21時07分	N27° 43.2′	E 56° 03.9′	7			6.0	イラン南部	死者1人、		
8	14日21時08分	N27° 44.1′	E 56° 04.5′	10	6.3			イラン南部	負傷者99人など		
9	15日13時23分	S37° 30.7′	E 51° 15.6′	10			6.0	南インド洋			
10	18日23時08分	S 5° 18.8′	E153° 44.1′	35			6.2	バブアニューギニア、ニューアイルランド			
11	19日21時40分	N39° 50.5′	E 41° 55.6′	10			5.1	トルコ	負傷者4人など		
12	25日21時04分	S10° 44.7′	E166° 29.0′	40			6.0	サンタクルーズ諸島			
13	26日08時45分	N22° 48.6′	E 93° 31.4′	42			6.2	ミャンマー—インド国境			
14	28日19時52分	S 4° 29.3′	W 76° 50.7′	112			(7.5)	ペルー北部	負傷者17人など		○
15	29日21時40分	N31° 17.5′	E142° 22.6′	12*		6.4	(6.3)	鳥島近海		○	
16	30日19時36分	S 3° 30.9′	E151° 10.8′	10			6.3	バブアニューギニア、ニューアイルランド			

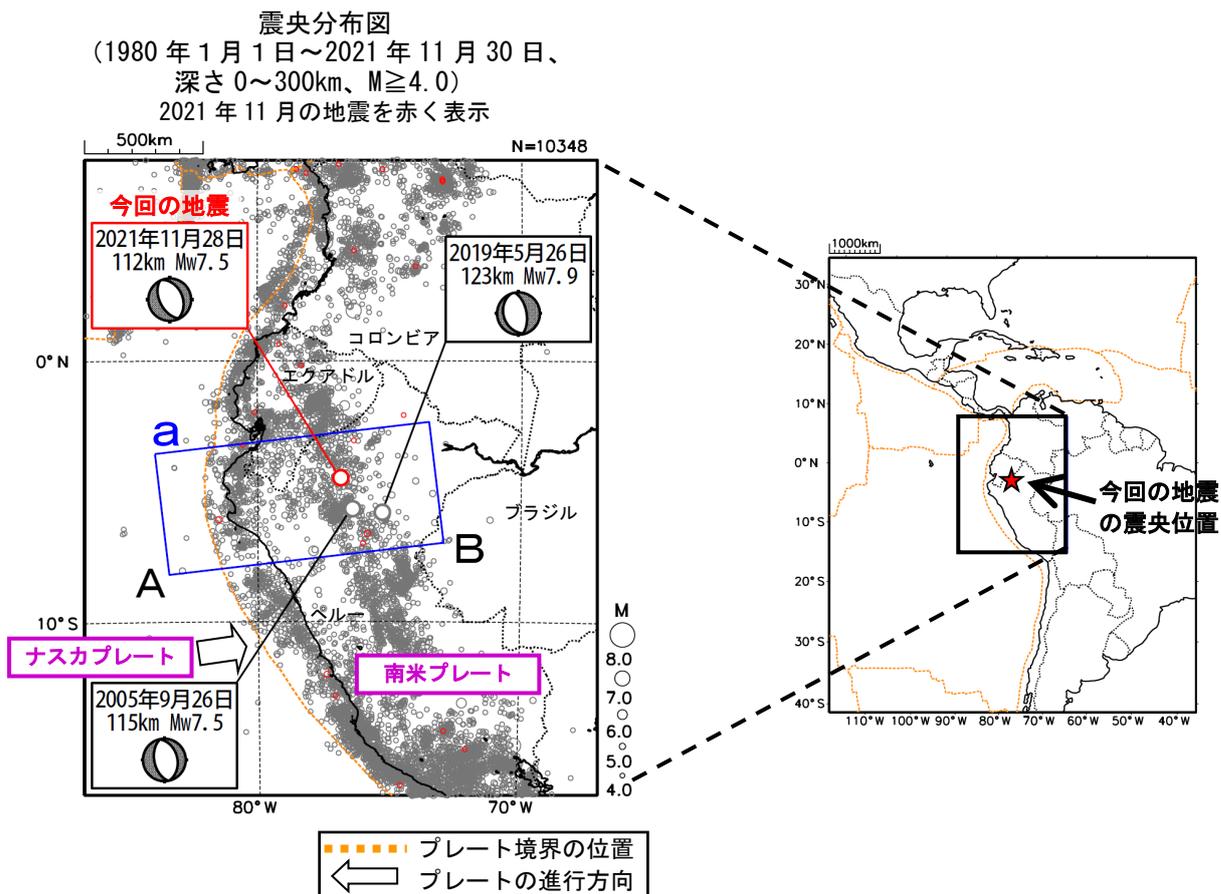
- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2021年12月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。11月19日のトルコの地震の被害は、トルコ政府による (11月20日現在)。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
- ・※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- ・津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による。

11月28日 ペルー北部の地震

2021年11月28日19時52分（日本時間、以下同じ）にペルー北部の深さ112kmでMw7.5の地震が発生した。この地震は、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は、東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

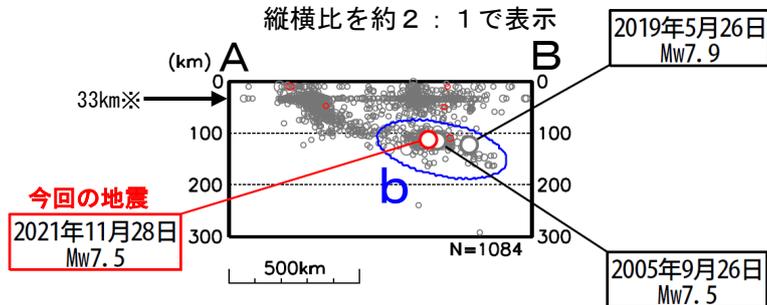
気象庁は、この地震に対して、同日20時20分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。また、この地震により、負傷者17人等の被害が生じた。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2005年9月26日に発生したMw7.5の地震では、死者5人、負傷者60人等の被害が生じた。また、2019年5月26日に発生したMw7.9の地震では、死者2人、負傷者15人等の被害が生じた（2019年5月30日17時現在）。

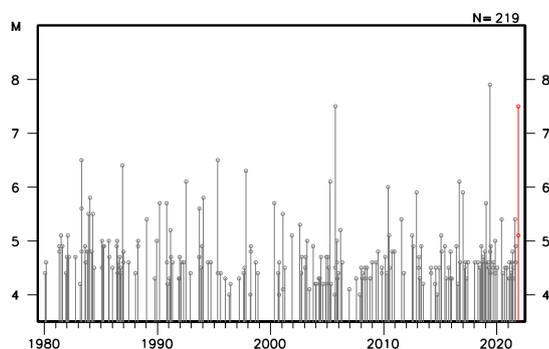


領域a内の断面図（A-B投影）

縦横比を約2:1で表示



領域b内のM-T図



※本図で深さ33kmに震源が並んでいるのは、USGSが深さを固定して震源計算を行ったことによるものである。

※本資料中、今回の地震及び2019年5月26日の地震の発震機構及びMwは気象庁、2005年9月26日の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2021年12月2日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。2005年9月26日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。被害状況で出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.